

『海外神社』跡地に関するデータベース構築について

津田 良樹 / 中島 三千男 / 堀内 寛晃

はじめに

戦前、日本帝国の「勢力圏」拡大に伴い、日本国および日本人がアジア太平洋地域に1600余社にのぼる海外神社を創建した。これら海外神社は日本の敗戦とともに、その機能を停止したが、その跡地が戦後60年を経るなか、現在どのような形で存在するのかとの観点から、われわれ第3班課題3「環境に刻印された人間活動の痕跡解読」の『海外神社』跡地グループは、海外神社跡地を非文字資料ととらえ、「人類文化研究のための非文字資料の体系化」に迫ろうと努力した。その成果の一部が論文編の『海外神社』跡地に見る景観の変容とその要因』や年報1～4の報告などである⁽¹⁾。

一方、神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」では、調査研究の成果をあげることはもとより、その過程で作成されたデータベースを公開することが各班各グループに課せられた責務であった。

そのようなわけで、海外神社跡地の調査研究過程で収集した諸資料をもとに、われわれは『海外神社』跡地に関するデータベース』を構築し公開することにした。データベースとして公開する資料は非文字を中心に画像化した文字情報も一部含まれている。すなわち、写真・絵葉書・図面・絵・地図などである。それらをデータ1点ごとに（たとえば、朝鮮神宮が写された古写真1点に対し）、神社名・社格・地域・創立年・祭神・所在地・原資料付加文字情報・原資料内容・原資料所蔵者・出典・原資料種類・原資料記法・原資料サイズ・原資料撮影・作成などの情報を加えて整理した。その一例を示したものが図1である。また、このように整理したデータの主なものを一覧表で示したものが、表1『海外神社』跡地に関するデータ一覧』である。神社によって粗密があるが、データは合計すると現時点で約1650点にのぼる。

以下に、ウェブサイトに公開する『海外神社』跡地に関するデータベース』を紹介しながらデータ

The screenshot shows a web interface for the 'Overseas Shrine Site' database. The main content area displays a data entry for '朝鮮神宮' (Choson Shrine). On the left, there is a navigation menu with options like 'このデータベースとは', '使い方', 'サイトマップ', and '非文字資料研究'. The main entry features a photograph of the shrine and a list of metadata:

- ID: 0000
- 神社名: 朝鮮神宮
- 地域: 朝鮮
- 所在地: 京城府南山
- 祭神: 天照大神、明治天皇
- 創立年: 1897 (明治30) 年1月13日
- 原資料付加文字情報: 朝鮮神宮全景図 朝鮮神宮略記 (内容判読困難) 朝鮮神宮社務所発行
- 原資料内容: 左上空より俯瞰
- 原資料種類: 絵葉書
- 原資料サイズ: ハガキ大

At the bottom of the page, there is a footer with the text: '海外神社跡地データベース 神奈川大学COEプロジェクト © Kanagawa University All rights reserved.'

図1 データサンプル

表1 海外神社（跡地）に関するデータ一覧

		書名等	著者等	出版年	点数	備考
古絵葉書	現物を所有している絵葉書				56	
		日本名勝風俗大写真帖		1931	3	
		台湾懐旧	松本・謝	1979	34	
		偽“満洲国明信片研究”	李重	2005	23	中国での出版
古写真・図面・地図などのデータ	組織による著作	偽“満洲国明信片研究”-偽満洲国都新京	李重	2005	6	中国での出版
		恩頼 朝鮮神宮御鎮座十周年記念	朝鮮神宮奉賛会	1937	126	
		昭南特別市史	シンガポール市政会	1987	1	
		満鉄附属地経営沿革全史	南満洲鉄道株式会社	1939	16	
		大連神社創立誌	大連神社社務所	1920	57	
		奉天神社誌	奉天神社社務所	1939	22	
		縣社開山神社沿革史	開山神社社務所	1915	6	
		朝鮮神宮写真帖	朝鮮神宮社務所	1930	27	
		朝鮮神宮造営誌	朝鮮総督府	1927	94	
		朝鮮神宮年報、昭和13年	朝鮮神宮社務所	1939	8	
		西安鉱業所 十年史	満洲炭鉱株式会社西安鉱業所	1942	3	
		全国有名御神社写真帖	皇国敬神会	1922	6	
		満洲概観	南満洲鉄道株式会社総裁室情報課		10	
		満洲写真帖	南満洲鉄道株式会社総裁室情報課		5	
		台湾神社誌	社務所	1921	5	
		満洲写真大観 大正10	満洲日日新聞社	1921	12	
		建国忠霊廟鎮座祭写真帖	満洲帝国祭祀府総務處	1944	29	
		木浦府史	木浦府	1930	2	
		満洲帝国皇帝陛下御訪日と建国神廟御創建	久保田覚巳	1941	3	
		ああ満洲	満洲回顧集刊行会	1965	1	
	順天中・高等学校五十年史	五十年史編纂委員会	1988	1	韓国での出版	
	木浦誌	木浦文化院	1991	1	韓国での出版	
	光州市史 第二巻	光州直轄市史編纂委員会	1993	1	韓国での出版	
	木浦開港百年史	百年史編纂委員会	1997	1	韓国での出版	
	日本社寺大観 神社篇	京都日出新聞社	1933	17		
	全国官国葬社写真帖	愛知県神職会	1937	11		
	沖縄県史資料編15	沖縄県庁	2002	16		
	個人による著作	大陸神社大観	岩下伝次郎	1941	95	
		長春写真帖	玉井庶吉	1929	2	
		南満洲写真大観	金沢求也	1911	9	
		海外の神社	小笠原省三	1933	13	
		日本地理体系 朝鮮編・台湾編	山本三生編集代表	1930	28	
		満洲写真大観	三島秋香	1922	4	
		哈爾濱名所アルバム	藤井金十郎	1942	5	
		侵略神社	辻子 実	2003	230	絵葉書を含む
		満洲の神社興亡史	嵯峨井建	1998	20	
		満洲公主嶺<写真集>	公主嶺小学校同窓会	1988	26	
		日本人よ忘れるなかれ		1983	3	
		昔のミクロネシア南洋群島写真帖		1978	3	
		第4回サイパン・パラオ戦没者慰霊の旅		1982	22	
		我等が海の生命線 南洋写真帖			6	
		具志川市史第4巻		2002	9	
		ハワイの神社	前田孝和	1999	17	
		関東神宮	石川佐中	1987	44	
		影像写花連	邱上林	1997	14	
神社建築		山内泰明	1967	2		
南洋群島案内		大宜味朝徳	1939	2		
終戦秘話 満洲国祭祀府の最後		外島	1967	3		
鮮満拓殖株式会社五年史		高見成	1941	2		
僕の見た「大日本帝国」		西牟田 靖	2005	20		
雑誌口絵・論文挿等		写真日本 10巻12号		1939	1	
		建築と社会、昭和16年6月		1941	5	
	朝鮮と建築			44		
	台湾建築会誌			62		
提供資料	満洲建築雑誌			34		
	学純同・サイパンテニアン戦跡慰霊団		1978	43		
	石川勇吉氏提供		2005	20		
	内海孝氏提供			12		
現地調査データ	現地調査写真			208		
	地図、(戦前)			23		
	地形図・地図、(戦後)			19		
その他	作成図面			60		
その他				約60		
総計				約1650		



図2 トップページ

ベースの構築について説明したい。

トップページについて

「『海外神社』跡地に関するデータベース」のトップページが図2である。古写真・現状写真・絵葉書・図面など典型的な資料を大きくあしらい、このデータベースの全貌を暗示させるデザインとなっている。左のサイドボードには「このデータベースとは」「使い方」「サイトマップ」「非文字資料研究」の項目が配置されている。

一方、上端の帯には検索方法として「神社名一覧」「詳細条件で探す」「地図で探す」の3項目を配している。

それぞれのボタンから各項目へリンクされており、使用者の操作によって各ページへ飛ぶことになる。

このデータベースとは

左のサイドボードの「このサイトについて」は小項目に分けられている。それらは以下の「○このデータベースについて」「○このデータベースの内容」「○このデータベースの特徴」「○著作権等について」「○『海外神社』跡地に関するデータベースの構築」「○データベース作成に関わった人々」の6項目である。

「○このデータベースについて」ではこのデータベース作成の動機・意義・位置づけについて説明し

ており、その内容は以下の通りである。

○このデータベースについて

このデータベースは、神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」の第3班課題3「環境に刻印された人間活動および災害の痕跡解読」の「『海外神社』跡地グループ」の成果である。

戦前、日本帝国の「勢力圏」の拡大に伴い、日本国及び日本人が、アジア太平洋地域に多くの神社（海外神社）を創建した。現在、その数は史料上確認されているものだけでも1600余社にのぼる。

いうまでもなく、これらの海外神社は日本の敗戦とともにその機能は停止したが、われわれは、この海外神社跡地が戦後60年を経過するなかで、今日どのような形で存在しているのか、海外神社跡地そのものを非文字資料ととらえ、「人類文化研究のための非文字資料の体系化」という全体テーマ及び「環境と景観の資料化と体系化」という第3班のテーマに迫ろうとしたものである。

その結論の一端は論文編で明らかにしたが、本データベースは、その研究調査の過程で収集した諸資料を収録したものである。もっとも、海外神社の跡地の調査は、神奈川大学の21世紀COEプログラムが開始される2003年の秋より前に、共同研究グループの一員である中島により1990年度から開始されていた。中島はCOEの活動が開始される以前、旧台湾、旧満洲、旧関東州、旧中華民国、旧朝鮮、旧昭南島の6地域47社の調査を行っていた。その後、COEの共同研究としての活動が開始されるが、2003年10月には旧樺太の12社、2004年8月の旧南洋群島の20社、2005年8月の旧朝鮮の18社、2006年8月の旧満洲の10社と計60社の跡地調査を行った。中島の個人研究分とあわせると、このデータベースには合計107社の跡地関係資料が収録されていることになる。

この107社という数は全体の海外神社の数1600余社からいえば、たかだか6%の数にすぎない。また、先に

述べたように、この調査研究は中島の個人研究の段階とCOEの共同研究という大きく二つの時期の調査研究がベースになっている。中島の個人研究段階は単に戦前の海外神社のイメージを膨らませるためにその跡地の研究を行ってきたものである。これに対して、COEの共同研究は戦後の海外神社の跡地そのものを非文字資料として位置づけ、しかもそれを景観や環境と関わらせての調査研究であった。また、後者の段階でも歴史学の中島だけではなく、建築学の富井や津田との共同研究であったが、「海外神社」跡地を環境や景観の問題と関わらせるために、そもそもどのような調査研究を行えばよいのかという試行錯誤、進化発展の連続であった。こういう点から、このデータベースに収録した跡地関係のデータは必ずしも統一・規格化されたものとはなっていない。

しかしながら、戦前の日本の「勢力圏」のほぼ全地域を網羅したこの「海外神社」跡地の調査研究に関するデータベースは、それが単に初めての試みというだけではなく、論文編で明らかにしたように海外神社跡地を景観や環境と関わらせて、非文字資料の体系化というテーマに迫る上で、それなりの意味を持っているものと言えよう。

もっともこのデータベースには、単に我々が調査した海外神社の跡地に関する資料だけではなく、その神社が戦前機能していた時代の写真等の資料をも収録している。また、それだけではなく、われわれが調査出来なかった多くの海外神社の当時の写真も収録している。今日、一般に公開されている海外神社の当時の写真の中で、最も多くの神社を収録しているのは辻子実『侵略神社—靖国思想を考えるために—』（新幹社、2003年）の7地域110社（230葉）である。本データベースを作成する上でこの辻子の仕事に負うところ大なるものがあったが、このデータベースにはその数をはるかに超える、9地域、236社（約1650葉）の写真を収録している。この意味でも本データベースの作成は大きな意味を持っているものといえよう。本データベースの表題を『「海外神社」跡地に関するデータベース』と名づけたのもその意味からである。

海外神社の研究は1990年代以降、急速の進展を見せているが、本データベースがそれをさらに発展させる一助となれば幸いである。

「○このデータベースの内容」ではこのデータベースが、現時点で1650点ほどのデータから構成されており、それらの内容が古写真・現状写真・古絵葉書・古地図・現状地図・図面などから構成されていることや公開の範囲について説明している。その内容は以下の通り。

○このデータベースの内容

このデータベースは、海外神社に関する写真・絵葉書・図面・地図・その他調査データから構成されております。

これらのうち、我々が作成や撮影した図面・調査表や現状写真と一部古絵葉書は我々が所蔵しています。しかし、絵葉書・写真・図面などの多くは既刊の書籍・雑誌などから転載しております。そのため、我々が所蔵する資料および著作権が切れた書籍・雑誌や許諾が得られた書物から転載したデータは全面的に公開しておりますが、現時点で許諾が得られていないものについては、写真・図面など画像情報については外部からはアクセスできない措置を取っております。ただし、画像情報以外のデータについては公開しておりますので、そのデータをもとに、もとの書物等に当たることは可能なくありません。当然のことながら、現時点で許諾が得られていないデータについても、許諾が得られ次第公開していく予定であります。

「○このデータベースの特徴」では、このデータベースが、従来よくある所蔵資料の整理後に公開するデータベースとは異なり、収集しつつ順次公開してゆくという進化形のデータベースであることなどが説明されている。その内容は以下の通り。

○このデータベースの特徴

本データベースの特色は、通常よく見られる図書館などで所蔵資料を整理完了後に公開するデータベースと異なり、データを収集しつつ順次公開していくという、常に変化発展していくデータベースであるという点にあります。収集データを留保することなく、迅速に公開することを最重要視しているため、必ずしも完成されたデータになってない場合もありますが、内容については順次改善していくつもりであります。

先にも述べたように、このデータベースは常に変化・発展するデータベースであり、より進化したデータベースになることを我々はめざしております。しかし、最初にこのデータベースを作成した我々だけの能力では、進化・発展し続けさせることは難しいことであると思われまます。進化し続けるデータベースを維持・発展させるためには、このサイトにアクセスし、このデータベースを閲覧される皆様の参加・助力があってこそ可能となると思われまます。データ内容に関する意見、新たなデータの提供、掲載データの許諾に関する情報、リンク先に関する意見等、このデータベースを進化させるために必要と思われる情報を下記に寄せていただければ幸いです。

「○著作権等について」では、著作権についての我々の考え方を説明している。すなわち、このデータベースで提供する画像や図面などが、我々が所有権・著作権をもつデータ、著作権が切れた文献から転載したデータ、現在も著作権をもつ文献から許諾を得て転載したデータから成り立っていること。これらのデータについてはわれわれの許諾を得ることなく転載を禁じることを掲げている。

「○データベースの構築」「データベースの作成に関わった人々」ではデータベース構築の主体を明示し、構築に携わった者の一覧を掲げている。その内容は以下の通り。

○データベースの構築

このデータベースは、神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」第3班課題3（景観に刻印された人間活動および災害の痕跡解説）『海外神社』跡地調査組が構築したものです。

○データベース作成に関わった人々

このデータベース構築を中心的に進めたのは以下の4名です。

津田 良樹
中島 三千男
堀内 寛晃
大坪 潤子

調査には上記4名のほか以下の6名が参加し、データの収集・作成・撮影等を行った。

富井 正憲
藤田 庄市
サイモン・ジョン

金 花子
川村 武史
尚 峰

データの入力については、そのほか以下の3名が協力した。

常盤 奈津子
王 京
劉 湯水

検索プログラム作成、webページ製作については(株)アドベンプロダクツの協力による。

「使い方」

トップページの左サイドボードの「使い方」をク

リックすれば、「使い方」について簡明に説明した「使い方」のページが開く。その内容は以下の通りである。

○使い方

『海外神社』跡地データベースでは、データセット（写真画像・図面画像・スケッチ・地図+テキスト）検索に次の3つの方法が使えます。

- 神社名などで探す
- 詳細条件で探す
- 地域で探す

検索結果は「画像サムネイル+神社の名称」で一覧表示され、対象の項目をクリックすると「拡大画像と詳細項目」を表示します。

○**神社名一覧**（神社以外に一部忠霊塔などが含まれているが、便宜上神社名で統一している）

トップページの「神社名一覧」をクリックします。神社名のリスト「神社名一覧」が表示されます。

一覧中の該当神社の名前をクリックすると、その神社または跡地の写真、図面などを「画像サムネイル+神社名称」で一覧表示します。

神社名一覧は基本的には神社名の先頭漢字の音読みで五十音順に並べてあります。ただし、カタカナの神社名はそのまま、音読みでは違和感があるような場合のみ訓読みや現地読みを重複して加えています。

○詳細条件で探す

トップページの「詳細条件で探す」をクリックします。詳細検索項目の選択肢とチェックボックスとが並んだ「詳細条件で探す」ページが表示されます。

選択肢横のチェックボックスをチェックし「検索」ボタンをクリックすると、選択肢に該当する神社または跡地の写真、図面などが「画像サムネイル+神社名称」で、資料種別ごとに一覧表示されます。選択肢は複数選択も可能です。

検索項目は

- 「地域」（神社が立地（跡地）した場所を含む地域名）
- 「創立年・鎮座年」（創立・設立・設立許可年・鎮座年のうち最も古い年を含む年代区分）
- 「祭神」（主な祭神名およびその他）
- 「社格」（旧社格制度による社格だけでなく、神饌幣帛料の供進神社、社・神祠などの別。および靖国・護国神社系などに分類）
- 「原資料の種類」（「写真（前）」：戦前・戦中に撮影、出版された写真、「写真（後）」：戦後に撮影された写真および現地調査時に撮影された写真、「絵葉書」、「図面」：造営当時の建築図面や現地調査による作成図面、「図」：絵や模式図など、「地図（前）」：戦前戦中の地図、「地図（後）」：戦後および現在の地図、「航空写真」、「調査表」：現地調査において作成された調査表、「文

字」：造管概要など当時の生文字資料を画像データ化したもの)

○地図で探す

トップページの「地図で探す」をクリックすると、海外神社が含まれる東アジア全体地図（「全体地図」）が表示されます。地図上の任意の地域部分をクリックすると、地域ごとの詳細地図が表示され、おおまかな行政区分をクリックすると、該当地域に含まれる神社写真、図面などが「画像サムネイル+神社名称」で、資料種類別ごとに一覧表示されます。

○サムネイル一覧表示画面

神社名、各詳細条件、地域ごとの分類で条件を絞り込んだ結果は、画像サムネイルで一覧表示されます。

サムネイルは大きく①かつて神社が創建され、神社として機能していた当時の画像、②戦後の様子や現地調査時の跡地の記録画像、③かつての図、図面や調査時の記録、図面、調査表などに分かれて表示されます。そのため、過去・現在、そしてそれらがどのように記録されたかを比較しながら閲覧することができます。

○検索結果の表示

サムネイル一覧表示画面の画像をクリックすると、目的の詳細情報を表示します。画像サイズは縦もしくは横480ピクセルで、付加的に文字情報も表示されます。

検索しなおす場合、検索条件を変更する場合は、上部の各条件のバーを再度クリックしてください。

検索について

検索方法については、「使い方」のページで説明しており、重複するが、ここでは実際に検索する手順に従い、順次説明してゆく。

神社名一覧

トップページ上端の帯の「神社名一覧」をクリックすると。神社名などを五十音順に並べた以下のような神社リストが現れる。一度に画面表示させることは不可能であるので、スクロールさせることによって、全体を見ることが可能であり、さらに「あ〜わ」の行の頭に直接到することもできる。たとえば、「建功神社」の場合、スクロールさせながら、五十音順の「け」のなかの「建」を探し、目当ての「建功神社」をクリックする。そうすれば、建功神社に関する古写真・絵・図面などのサムネイルがずらりと並ぶ一覧表示画面へ致る。サムネイルの全貌が見

渡せない場合はスクロールさせ、サムネイルの中から必要なデータを選ぶことになる。

このリストの配列は、原則として先頭漢字の音読みによって五十音順に配列しているが、訓読みや現地読みなどが一般的な場合はその読みも加えて重複して配列している。

なお、ここに掲載された神社などは1600社といわれる海外神社のうち、このデータベースにデータが収録されたものに限られている。そのため、新たな神社のデータが追加された場合は、このリストから変更を要するという欠点があるが、海外神社の全体からすれば極めて限られた神社のデータしか、収録されていない現状からはいたしかたないところである。

検索ページの一部を示したものが図3であり、神社などの一覧表が表2である。

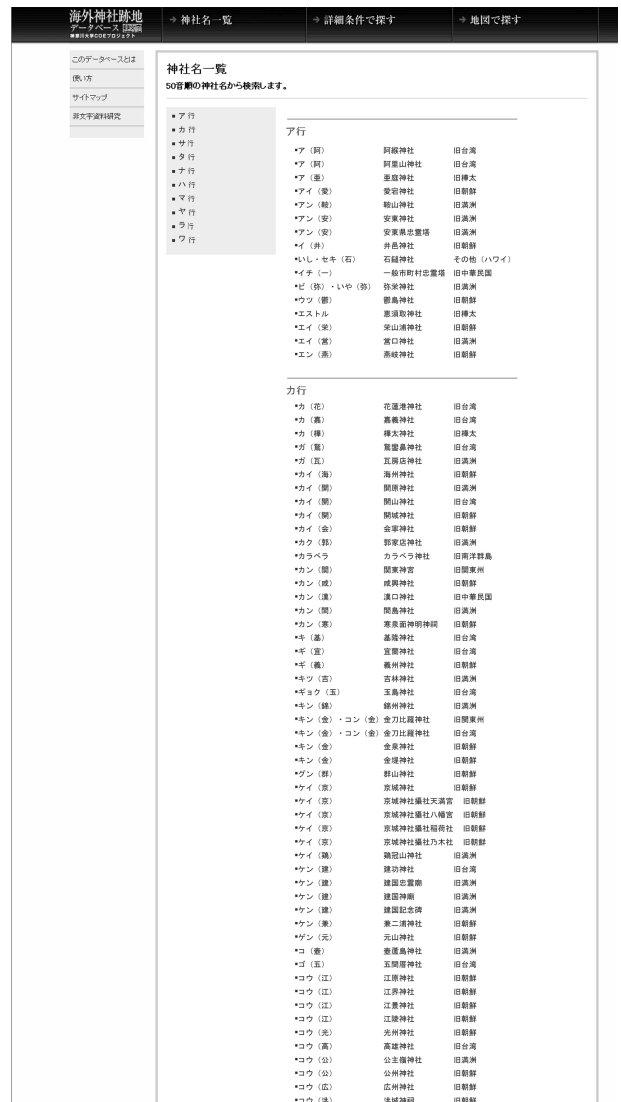


図3 神社名一覧検索ページの一部

表2 海外神社など五十音順リスト

50音	先頭の漢字など	神社名	地域
あ	ア (阿)	阿緞神社	旧台湾
	ア (阿)	阿里山神社	旧台湾
	ア (亜)	亜庭神社	旧樺太
	アイ (愛)	愛宕神社	旧朝鮮
	アン (鞍)	鞍山神社	旧満洲
	アン (安)	安東神社	旧満洲
	アン (安)	安東県忠霊塔	旧満洲
い	イ (井)	井邑神社	旧朝鮮
	いし・セキ (石)	石鎚神社	その他(ハワイ)
	いずみ (泉)	泉神社	旧南洋群島
	イチ (一)	一般市町村忠霊塔	旧中華民国
	いや (弥)・ビ (弥)	弥栄神社	旧満洲
う	ウツ (鬱)	鬱島神社	旧朝鮮
え	エ (恵)	恵須取神社	旧樺太
	エイ (栄)	栄山浦神社	旧朝鮮
	エイ (営)	営口神社	旧満洲
	エヌケーケー	NKK神社	旧南洋群島
	エン (燕)	燕岐神社	旧朝鮮
か	カ (花)	花蓮港神社	旧台湾
	カ (嘉)	嘉義神社	旧台湾
	カ (樺)	樺太神社	旧樺太
	ガ (鷲)	鷲鬘鼻神社	旧台湾
	カ (樺)	樺太護国神社	旧樺太
	ガ (瓦)	瓦房店神社	旧満洲
	カイ (海)	海州神社	旧朝鮮
	カイ (開)	開原神社	旧満洲
	カイ (開)	開山神社	旧台湾
	カイ (開)	開城神社	旧朝鮮
	カイ (会)	会寧神社	旧朝鮮
	カク (郭)	郭家店神社	旧満洲
	カラベラ	カラベラ神社	旧南洋群島
	かすが・シュン (春)	春日造(『設立許可申請書調整基準』付図)	旧朝鮮
	カン (関)	関東神宮	旧関東州
	カン (咸)	咸興神社	旧朝鮮
	カン (漢)	漢口神社	旧中華民国
	カン (間)	間島神社	旧満洲
	カン (寒)	寒泉面神明神祠	旧朝鮮
き	キ (基)	基隆神社	旧台湾
	キ (基)	基隆仙洞弁天宮	旧台湾
	ギ (宜)	宜蘭神社	旧台湾
	ギ (義)	義州神社	旧朝鮮
	キツ (吉)	吉林神社	旧満洲
	キツ (吉)	吉野神社	旧台湾
	キツ (橘)	橘神社	旧南洋群島
	ギョク (玉)	玉島神社	旧台湾
	ギョク (玉)	玉里社	旧台湾
	ぎり・ム (霧)	霧ヶ丘社	旧台湾
	キン (錦)	錦州神社	旧満洲
	キン・コン (金)	金刀比羅神社	旧関東州
	キン・コン (金)	金刀比羅神社	旧台湾
	キン (金)	金泉神社	旧朝鮮
	キン (金)	金堤神社	旧朝鮮
	キン (金)	金州神社	旧関東州
く	グン (群)	群山神社	旧朝鮮
け	ケイ (京)	京城神社	旧朝鮮
	ケイ (京)	京城神社攝社天満宮	旧朝鮮
	ケイ (京)	京城神社攝社八幡宮	旧朝鮮
	ケイ (京)	京城神社攝社稻荷社	旧朝鮮
	ケイ (京)	京城神社攝社乃木社	旧朝鮮
	ケイ (京)	京城神社龍山御旅所	旧朝鮮

50音	先頭の漢字など	神社名	地域
	ケイ (鷄)	鷄冠山神社	旧満洲
	ケン (建)	建功神社	旧台湾
	ケン (建)	建国忠霊廟	旧満洲
	ケン (建)	建国神廟	旧満洲
	ケン (建)	建国記念碑	旧満洲
	ケン (兼)	兼二浦神社	旧朝鮮
	ゲン (元)	元山神社	旧朝鮮
こ	コ (壺)	壺蘆島神社	旧満洲
	ゴ (五)	五間厝神社	旧台湾
	コウ (江)	江原神社	旧朝鮮
	コウ (江)	江界神社	旧朝鮮
	コウ (江)	江景神社	旧朝鮮
	コウ (江)	江陵神社	旧朝鮮
	コウ (江)	江密峰神社	旧満洲
	コウ (光)	光州神社	旧朝鮮
	コウ (高)	高雄神社	旧台湾
	コウ (公)	公主嶺神社	旧満洲
	コウ (公)	公州神社	旧朝鮮
	コウ (洪)	洪城神祠	旧朝鮮
	コウ (皇)	皇大神宮	旧中華民国
	ゴウ (哈)	哈爾濱神社	旧満洲
	ゴウ (哈)	哈爾濱護国神社	旧満洲
	ゴウ (哈)	哈爾濱忠霊塔	旧満洲
	コン・キン (金)	金刀比羅神社	旧関東州
	コン・キン (金)	金刀比羅神社	旧台湾
さ	サ (佐)	佐久間神社	旧台湾
	サ (沙)	沙河口神社	旧関東州
	サイ (彩)	彩帆神社	旧南洋群島
	サン (山)	山路神社	旧満洲
	サン (三)	三越京城支店稻荷社	旧朝鮮
し	シ (四)	四平街神社	旧満洲
	シ (芝)	芝山岩神社	旧台湾
	シ (志)	志士の碑	旧満洲
	シキ (敷)	敷香神社	旧樺太
	ジュ (壽)	壽社	旧台湾
	ジュウ (住)	住吉神社	旧南洋群島
	シュン (春)	春陽面神明神祠	旧朝鮮
	シュン (春)	春日造(『設立許可申請書調整基準』付図)	旧朝鮮
	ジュン (順)	順天神社	旧朝鮮
	ジョ (徐)	徐州神社	旧中華民国
	ショウ (松)	松島神社	旧朝鮮
	ショウ (松)	松枝春次氏銅像の写真	旧南洋群島
	ショウ (招)	招魂社概念図	旧満洲
	ショウ (小)	小鹿島神社	旧朝鮮
	ショウ (小)	小林、向後二烈士の碑	旧満洲
	ショウ (承)	承德神社	旧満洲
	ショウ (昭)	昭南神社	その他(シンガポール)
	ショウ (彰)	彰化神社	旧台湾
	ショウ (昌)	昌図神社	旧満洲
	ジョウ (上)	上海神社	旧中華民国
	ジョウ (上)	上海護国神社	旧中華民国
	ジョウ (城)	城津神社	旧朝鮮
	ジョウ (城)	城津松興温泉神社	旧朝鮮
	シン (新)	新高祠	旧台湾
	シン (新)	新京神社	旧満洲
	シン (新)	新京稻荷神社	旧満洲
	シン (新)	新京忠霊塔	旧満洲
	シン (新)	新高神社	旧台湾
	シン (新)	新竹神社	旧台湾
	シン (神)	神明造(『設立許可申請書調整基準』付図)	旧朝鮮

50音	先頭の漢字など	神社名	地域
	シン (神)	神祠	旧朝鮮
	シン (新)	新月里神祠	旧朝鮮
	シン (真)	真岡神社	旧樺太
	ジン (仁)	仁川神社	旧朝鮮
す	ズ (図)	図們神社	旧満洲
	スイ (水)	水原神社	旧朝鮮
	ズイ (瑞)	瑞穂神社	旧朝鮮
	ズイ (瑞)	瑞氣山忠魂碑	旧朝鮮
	すみ (住)	住吉神社	旧南洋群島
せ	セイ (青)	青島神社	旧満洲
	セイ (清)	清州神社	旧朝鮮
	セイ (清)	清津神社	旧朝鮮
	セイ (清)	清津金刀比羅神社	旧朝鮮
	セイ (清)	清豊面神明神祠	旧朝鮮
	セイ (成)	成歎神社	旧朝鮮
	セイ (西)	西安神社	旧満洲
	セイ (西)	西公園誠忠碑	旧満洲
	セキ (石)	石家荘神社	旧中華民国
	セキ (石)	石鎚神社	その他(ハワイ)
	セイ (清)	清州神社	旧朝鮮
	セン (戦)	戦地忠霊塔	旧中華民国
	ゼン (全)	全州神社	旧朝鮮
そ	ソウ (荘)	荘河神社	旧満洲
た	タイ (台)	台湾神宮	旧台湾
	タイ (台)	台湾護国神社	旧台湾
	タイ (台)	台南神社	旧台湾
	タイ (台)	台中神社	旧台湾
	タイ (台)	台東神社	旧台湾
	タイ (泰)	泰仁神社	旧朝鮮
	タイ (太)	太原神社	旧中華民国
	ダイ (大)	大連神社	旧関東州
	ダイ (大)	大連金比羅神社	旧関東州
	ダイ (大)	大連出雲大社	旧関東州
	ダイ (大)	大連出雲大社教関東分院	旧関東州
	ダイ (大)	大連忠霊塔	旧関東州
	ダイ (大)	大邱神社	旧朝鮮
	ダイ (大)	大田神社	旧朝鮮
	ダイ (大)	大石橋神社	旧満洲
	ダイ (大)	大石頭訓練所神社	旧満洲
	ダイ (大)	大場神社	旧朝鮮
	ダイ (大)	大山祇神社	旧南洋群島
	ダイ (大)	大港口祠	旧台湾
	ダイ (第)	第一陣神社	旧満洲
	タン (丹)	丹光稲荷神社	旧満洲
ち	チュウ (忠)	忠州神社	旧朝鮮
	チュウ (忠)	忠魂碑	旧満洲
	チョウ(朝)	朝鮮神宮	旧朝鮮
	チョウ・なが (長)	長政神社	その他(タイ)
	チン (鎮)	鎮海神社	旧朝鮮
	チン (鎮)	鎮南浦神社	旧朝鮮
	チン・セイ (青)	青島神社	旧満洲
て	テ・ダイ (大)	大邱神社	旧朝鮮
	テイ (鄭)	鄭家屯神社	旧満洲
	テツ (鉄)	鉄嶺神社	旧満洲
	テニアン	テニアンの神社	旧南洋群島
	テン (天)	天仁安神社	旧南洋群島
	テン (天)	天津神社	旧中華民国
	テン (天)	天津神社か	旧中華民国
	テン (天)	天安神社	旧朝鮮
	テン (天)	天地神壇	旧朝鮮
と	ト (都)	都洛神社	旧南洋群島
	トウ (東)	東山神社	旧朝鮮

50音	先頭の漢字など	神社名	地域
	トウ (東)	東?神社	旧朝鮮
	トウ (東)	東面神明神祠	旧朝鮮
	トウ (統)	統営神社	旧朝鮮
	トウ (桃)	桃園神社	旧台湾
	ドウ (同)	同福面神明神祠	旧朝鮮
	ドウ (道)	道巖面神明神祠	旧朝鮮
	ドウ (道)	道谷面神祠	旧朝鮮
	とよ・ホウ (豊)	豊原神社	旧樺太
な	なが・チョウ (長)	長政神社	その他(タイ)
	ながれ・リュウ (流)	流造『設立許可申請書調整基準』図)	旧朝鮮
	ナン (南)	南山神社	旧関東州
	ナン (南)	南洋神社	旧南洋群島
な	ナン (南)	南興神社	旧南洋群島
	ナン (南)	南陽神社	旧南洋群島
	ナン (南)	南京神社	旧中華民国
	ナン (南)	南原神社	旧朝鮮
	ナン (南)	南面神明神祠	旧朝鮮
に	ニ (二)	二西面神明神祠	旧朝鮮
	にい (新)	新高祠	旧台湾
は	ハ・ゴウ (哈)	哈爾濱神社	旧満洲
	ハ・ゴウ (哈)	哈爾濱護国神社	旧満洲
	ハ・ゴウ (哈)	哈爾濱忠霊塔	旧満洲
	バ (馬)	馬山神社	旧朝鮮
	ば (馬)	馬太鞍遥拝所	旧台湾
	ハク (白)	白玉山納骨神社	旧関東州
	ハク (白)	白玉山表忠塔	旧関東州
	ハク (白)	白浦(ウズモーリエ)神社	旧樺太
	ハク (泊)	泊居神社	旧樺太
	ハチ (八)	八幡神社	旧南洋群島
	ハワイ	ハワイ金刀比羅神社	その他(ハワイ)
	ハワイ	ハワイ大神宮	その他(ハワイ)
	ハワイ	ハワイ出雲大社	その他(ハワイ)
	ハワイ	ハワイ石鎚神社	その他(ハワイ)
	ハン (範)	範家屯神社	旧満洲
	バン (盤)	盤龍神社	旧朝鮮
ひ	ヒ (貳)	貳子窩神社	旧関東州
	ひ (日)	日之出神社	旧南洋群島
	ビ (弥)・いや (弥)	弥栄神社	旧満洲
	ヒャク (百)	百草溝神社	旧満洲
	ビョウ (苗)	苗栗神社	旧台湾
	ヒロ	ヒロ大神宮	その他(ハワイ)
ふ	フ (扶)	扶餘神宮	旧朝鮮
	フ (普)	晋州神社	旧朝鮮
	フ (普)	普蘭店神社	旧関東州
	ブ (撫)	撫順神社	旧満洲
へ	ペ・ホク (北)	北京神社	旧中華民国
	ヘイ (平)	平壤神社	旧朝鮮
	ヘイ (平)	平安神社	旧朝鮮
	ペリ	ペリリュウ神社	旧南洋群島
ほ	ホ (浦)	浦項神社	旧朝鮮
	ボ (牡)	牡丹江神社	旧満洲
	ホウ (奉)	奉天神社	旧満洲
	ホウ (奉)	奉天忠霊塔	旧満洲
	ホウ (豊)	豊原神社	旧樺太
	ホウ (豊)	豊田神社	旧台湾
	ホウ (奉)	奉安殿	旧南洋群島
	ホウ (澎)	澎湖神社	旧台湾
	ホク (北)	北京神社	旧中華民国
	ホク (北)	北票神社	旧満洲
	ホク (北)	北安神社	旧満洲
	ホク (北)	北面神祠	旧朝鮮

50音	先頭の漢字など	神社名	地域
	ホノ	ホノルル大神宮	その他(ハワイ)
	ホン(本)	本溪湖神社	旧満洲
ま	ま・バ(馬)	馬山神社	旧朝鮮
	ま(真)	真岡神社	旧樺太
	マウイ	マウイ神社	その他(ハワイ)
	マーシャル	マーシャル神社	旧南洋群島
	マラエア	マラエア恵比須金刀比羅神社	その他(ハワイ)
み	ミツ(蜜)	密陽神社	旧朝鮮
む	ム・ぎり(霧)	霧ヶ丘社	旧台湾
め	メイ(明)	明治三十七八年戦役記念碑	旧満洲
も	モ(茂)	茂山神社	旧朝鮮
	モイリリ	モイリリ稲荷神社	その他(ハワイ)
や	ヤ(野)	野田稲荷神社	旧樺太
ゆ	ユ(諭)	諭達山神社?	旧朝鮮
よ	よし(吉)	吉野神社	旧台湾
ら	ラ(羅)	羅州神社	旧朝鮮
	ラ(羅)	羅宗神社	旧南洋群島
	ラ(羅)	羅南神社	旧朝鮮

50音	先頭の漢字など	神社名	地域
	ラ(羅)	羅南忠魂碑	旧朝鮮
	リ(里)	里港神社	旧台湾
り	リ(裡)	裡里神社	旧朝鮮
	リ(梨)	梨陽面神明神祠	旧朝鮮
	リュウ(龍)	龍頭山神社	旧朝鮮
	リュウ(龍)	龍城山神社	旧朝鮮
	リュウ(龍)	龍川神社	旧朝鮮
	リュウ(流)	流造(『設立許可申請書調整基準』付図)	旧朝鮮
	リョウ(遼)	遼陽神社	旧満洲
	リョウ(遼)	遼陽忠霊塔	旧満洲
	リョウ(綾)	綾州面神明神祠	旧朝鮮
	リュウ(溜)	溜川神社	旧中華民国
れ	レン(連)	連山関神社	旧満洲
ろ	ロサ	ロサンゼルス稲荷神祠	その他(合衆国)
	ロタ	ロタ神社	旧南洋群島
わ	ワ(和)	和順面神明神祠	旧朝鮮
	ワ(和)	和泉神社	旧南洋群島



図5 「地図で探す」のトップページ

図4 「詳細条件で探す」のページ

詳細条件で探す

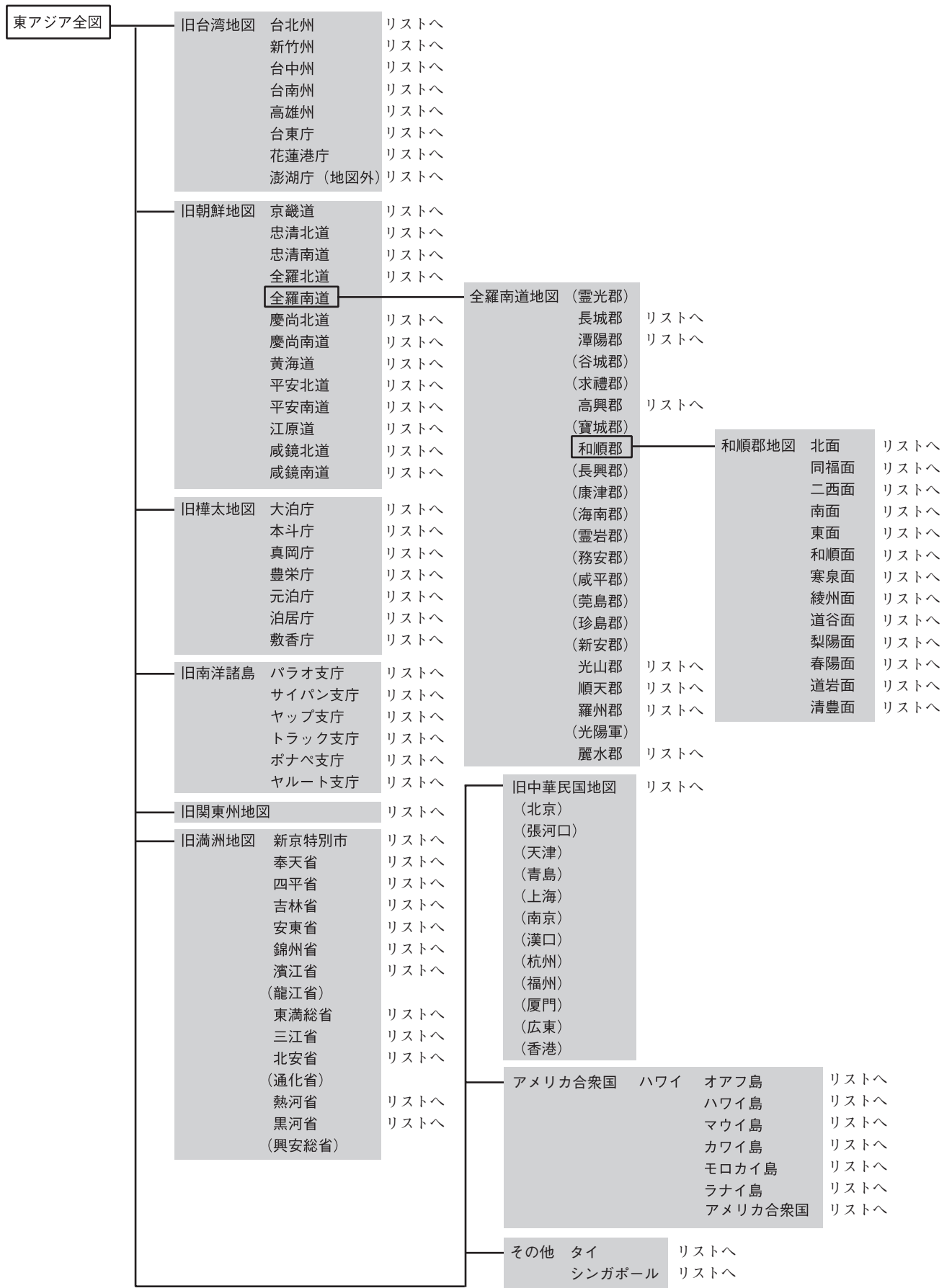
トップページ上端の帯の「詳細条件で探す」をクリックすると、図4のページが現れる。この「詳細条件で探す」には、「地域」「創立年・鎮座年」「社格など」「祭神」「原資料の種類」の5つの項目が用意されており、それら項目のなかの選択肢を選ぶことによって検索できる。選択肢は複数の選択肢を選ぶことが可能で、絞り込んだ検索が可能となる構造になっている。たとえば、「地域」の項目のなかの

「旧朝鮮(全羅南道)」および「社格」の項目のなかの「国幣小社」を選択すると、光州神社1社に絞られ、光州神社に関する古写真・現況写真・新旧の地図・図面などのデータのサムネイルがどっと並ぶ一覧表示画面が表示されることになる。そのサムネイルのなかから必要なデータを選べばよい。

地図で探す

トップページ上端の帯の「地図で探す」をクリックすると日本帝国の「勢力圏」が最大時の領域を包

図6 地図で探す構成チャート図



含した「全体地図」(図5)が現れる。「全体地図」は戦前の地図を原図としているため、地名等は当時のままになっている。その「全体地図」のなかで、たとえば旧満洲をクリックすると「旧満洲全図」が開き、さらにその図の吉林省をクリックすれば、吉林省の神社名のリストが並ぶ。そのリストの中から目的の公主嶺神社を選択する。そうすれば、他の検索と同様に公主嶺神社に関する古写真・現状写真・復原配置図・現状地図などのサムネイルの一覧が表示される。そのサムネイルから必要なデータを選ぶことになる。

「旧朝鮮(全羅南道)」の場合は、さらに細部にまで地図をたどって到達することができる。「全体地図」から旧朝鮮をクリックすれば、「旧朝鮮全図」が開き、「旧朝鮮全図」の全羅南道をクリックすれば全羅南道の地図が開き、さらに全羅南道の和順郡をクリックすれば郡内各面が図示された和順郡地図が開く。和順郡地図の中から、各面の神祠名を選ぶことによって神祠のデータのサムネイルが一覧される。

また、「地図で探す」をフローチャートで示すと、図6のようになろう。

以上のように、このデータベースは、さまざまな検索方法で、各データに到達することができるよう構築されている。とはいえ、ネット上における検索では、必ずしも以上のような手続きを踏む必要はな

い。グーグルのような検索エンジンの巡回も考慮しており、検索サイトから直接データに至ることも十分可能であり、むしろ一般的にはそのようなアプローチが多くなると思われる。それらのアプローチに広く門戸を開くことによって、広く情報を公開することが可能となるとともに、それが新たな情報の収集につながるものと期待される。

おわりに

再度繰り返すが、ウェブ上に公開している「このデータベースの特徴」で示したように、このデータベースは、データを収集しつつ、順次公開していくという、常に変化発展していくデータベースであることに特色がある。すなわち、収集データを留保することなく、迅速に公開することを最重要視している。進化し続けるデータベースを維持・発展させるためには、このサイトにアクセスし、このデータベースを閲覧する人々の参加・協力があってこそ可能になると考えている。データ内容に関する意見、新たなデータの提供、掲載データの許諾に関する情報、リンク先に関する意見等をいただき、迅速にかつ積極的にそれらを取り入れ、このデータベースを進化・発展させていきたいと考えている。そのためには、このデータベースを常時、維持・管理していく体制を準備することが、今後最も重要な課題となろう。

(つだ・よしき/なかじま・みちお/ほりうち・ひろあき)

【注】

- (1) 富井正憲、藤田庄市、中島三千男「旧樺太(南サハリン)神社跡地調査報告」(神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』、第1号2004年3月)・富井正憲、中島三千男、大坪潤子、サイモン・ジョン「旧南洋群島の神社跡地調査報告」(神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』、第2号2005年3月)・津田良樹、中島三千男、金花子、川村武史「旧朝鮮の神社跡地調査とその検討」(神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』第3号、2006年3月)・津田良樹、中島三千男、堀内寛晃、尚峰「旧満洲国の『満鉄附属地神社』跡地調査からみた神社の様相」(神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』、第4号2007年3月)・中島三千男「海外神社跡地に見る景観の変容」(『環境と景観の資料化と体系化にむけて』、神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議、2004年12月)。